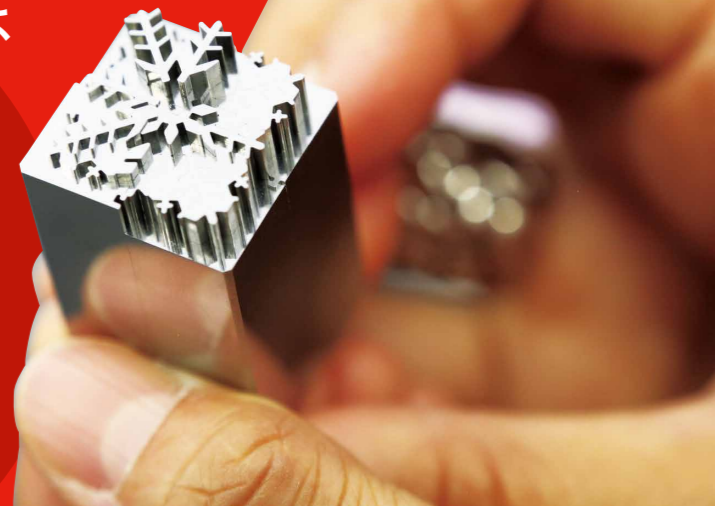


鉄の塊、複雑なパーツの
精度は5ミクロン。
1ミクロンは
1000分の1ミリです。



美術工芸品

まるで
のように、

機械部品をつくる。

業界に新風を。
オーダーメイドの精密部品を
手掛けるエンジニア集団

品質管理と設備投資を惜しまず
「モノづくりが好きの人に向きます」

大東技研は、1975年、放電加工の第一人者だった工学博士の創業者が立ち上げた工作機械メーカーから出発。現社長の岡本珠希さんは、長年パリで映画製作配給会社を経営していたが、京都に戻り、2年前に2代目に就いた。技術畑出身ではないが、業界関係者や取引先と交流を深めるうち、「大東さんは、部品もユニットの組み付けも精度がトップレベル」「研究開発にスピード感がある」という声に、もっと高みの世界を目指したいと決心した。1ミクロン単位の精度で加工した複雑な形状のパーツを組み立てるなど、培って来た高い技術力。「ヨソの企業ができない、ハイレベルなオーダーを多く引き受けています」と、岡本さんは笑顔で話す。

また、大東技研の強みは、珍しく自社に「品質管理」をもっていることだ。

中小部品メーカーの多くが外部や顧客に委託する部署だが、「品質管理も、技術の一部。自分たちが作ったモノは、自分たちで責任を持つべし」という考えによる。

設備投資を惜しまないのも特徴だ。高級外車のエンジンも手掛ける国内メーカーの機械など、トップレベルの設備をずらりと揃える。工場を訪れた取引先企業の担当者が驚くこともしばしばだ。

この仕事に向いているのは、ひとつひとつの作業に丁寧に向き合いたいという、クラフトマンシップ精神のある人だ。イメージとしては、センスのある職人。精巧さ・美しさでもあるので、美術系出身者にもおすすすめだ。

「40年以上の経験と高い技術力」「充実した設備」をベースに、大東技研は今、大きく飛躍しようとしている。「今、必要なのは若い力。必ず、世界に通用するエキスパートに育てます。カッコいい仕事を、一緒にしましょう」。

DAITÔ
ENGINEERS CO., LTD.

株式会社大東技研

事業本部：京都市北区大北山原谷乾町30-80
TEL: 075-461-7333
https://www.daito-engineers.co.jp
従業員数：20名
設立：1975年4月
主な事業内容：半導体自動製造装置用や医療・航空・環境分野等の高精密部品の製作



世界的企業に信頼される技術力。 ていねいなモノづくりがしたい人に向く仕事です。

岡本珠希社長は「次世代を担う、スタイリッシュな工場にしたい」。カフェテリア併設の新社屋の準備を進めている。

工場長の堀口一也さんは41歳。文系出身。「完成品は、いわば自分そのもの。性格も想いも、すべて部品に反映されるのがおもしろい」。



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

・精密加工エンジニア【内容】CAD/CAMでの設計・作図やNC工作機械のプログラミングおよび各種金属材の精密加工、加工品の手仕上げ、品質検査など
・品質管理エンジニア【内容】加工品の測定および検査、測定方法の考案・分析、顧客との品質・仕様についての均衡業務など
・総務事務【内容】データ入力、書類作成、採用、広報、経理等の補助業務と社長アシスタント業務
【応募資格】2019年3月高校・専門学校・高等専門学校・短大・大学・大学院卒業見込みの方(全学部全学科、

文理関係なし)
【給与】新卒：大学卒195,000円。中途：年齢・経験・職歴をもとに当社規定により応相談。通勤、家族、役職、技術、住宅(原谷エリア)、慶弔、社員表彰など手当あり
【勤務地】本社
【勤務時間】8:00 ~ 17:05(休憩65分含む)
【休日】週休2日制(土・日/月1回のみ勉強会を兼ね土曜日出社)、年間110日
【その他待遇】各種社会保険完備、財形貯蓄、退職金制度、定期健康診断、マイカー/バイク通勤可(無料駐車場完備)、昼食補助など
【歓迎】モノづくりが本当に大好き・本気で挑戦したい若手の未経験者の方は、理系・文系問わず歓迎。ゼロからいねいに教えます。
【連絡先】まずは一度お電話ください。
TEL:075-461-7333(採用:岡本)

機械をつくる機械の
部品だから「極上の品質」

最先端技術を求められるモノづくり業界において、世界的企業から絶大な信頼を得る精密金属部品製作メーカー「大東技研」。得意とするのは、半導体を作る装置の心臓にあたる部品製作。つまり「機械をつくる機械のための部品をつくる」のだ。

想像してほしい。私たちが日々使うパソコンや冷蔵庫、自動車の工場はそれなりの精度が求められるが、それらを大量生産する機械は一日に同じ動作を何十万回と繰り返す。それゆえ、1ミリの1000分の1(1ミクロン)単位の精度が求められる。高い精度で作られた部品でないバランスが狂い、操作停止や機械の故障を招いてしまう。だからこそ、高額を払っても、工場は極上の「狂わない」部品を使いたいと考える。それが大東技研が選ばれる理由だ。

基本は多品種・小ロットで、作る部品は1種あたり主に1〜2個。その感覚は世界に数個しかない美術工芸品を作るのにそっくりだ。金属を使った、オーダーメイドのモノづくりなのだ。

現在は、放電加工に加え、マシニングセンター・切削・品質管理の4部門を抱える。次世代機械の開発・試作の依頼も多い。